【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2005-116524(P2005-116524A)
【公開日】平成17年4月28日(2005.4.28)
【年通号数】公開・登録公報2005-017
【出願番号】特願2004-270728(P2004-270728)
【国際特許分類】
*Ｈ０５Ｂ　33/10　(2006.01)*
*Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　33/10
Ｈ０５Ｂ　33/14　A

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月27日(2007.6.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】表示装置の作製方法
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板上に第１の電極を形成し、
前記第１の電極上に発光材料を含む層を形成し、
前記発光材料を含む層上に第２の電極を形成し、
大気中の水分が固体の状態で、前記第１の電極、前記発光材料を含む層および前記第２の電極を有する発光素子に逆方向電圧を印加して、前記第１の電極と前記第２の電極の短絡部を絶縁化することを特徴とする表示装置の作製方法。
【請求項２】
基板上に第１の電極を形成し、
前記第１の電極上に発光材料を含む層を形成し、
前記発光材料を含む層上に第２の電極を形成し、
不活性気体の雰囲気下で、前記第１の電極、前記発光材料を含む層および前記第２の電極を有する発光素子に加熱処理を行い、
大気中の水分が固体の状態で、前記発光素子に逆方向電圧を印加して、前記第１の電極と前記第２の電極の短絡部を絶縁化することを特徴とする表示装置の作製方法。
【請求項３】
基板上に第１の電極を形成し、
前記第１の電極上に発光材料を含む層を形成し、
前記発光材料を含む層上に第２の電極を形成し、
不活性気体の雰囲気下で、前記第１の電極、前記発光材料を含む層および前記第２の電極を有する発光素子に第１の加熱処理を行い、

大気中の水分が固体の状態で、前記発光素子に逆方向電圧を印加して、前記第１の電極と前記第２の電極の短絡部を絶縁化し、

不活性気体の雰囲気下で、前記発光素子に第２の加熱処理を行うことを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項４】

請求項２において、

前記加熱処理は、１００度以上の温度で行うことを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項５】

請求項３において、

前記第１の加熱処理と前記第２の加熱処理は、１００度以上の温度で行うことを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項６】

請求項１乃至請求項３のいずれか一項において、

大気中の水分が固体の状態とは、－４０度乃至８度の温度の状態であることを特徴とする表示装置の作製方法。

【請求項７】

請求項１乃至請求項３のいずれか一項において、

大気中の水分が固体の状態とは、－２５度乃至８度の温度の状態であることを特徴とする表示装置の作製方法。